



かみこあにむら  
議会だより

# みどり

第 176 号

発行 令和 2 年 11 月 10 日

編集 議会広報編集委員会

秋田県上小阿仁村議会

TEL 0186 (77) 2226

FAX 0186 (77) 2227



## 保育園のサツマイモ掘り

9月定例会

- 一般会計他 7 会計の決算の概要 ..... P 2
- 一般会計主要施策の成果 ..... P 3
- 審査過程における意見・要望及び当局回答 ..... P 5
- 令和元年度一般会計、臨時議会 ..... P 7
- 一般質問 2 人が登壇 ..... P 8
- 議会の動き、むらのわだい、編集後記 ..... P 10

# 原案を認定・可決

9月7日から17日までの11日間の日程で、令和2年第5回定期会議が開催され、令和元年度各会計決算など15案件を審議し、すべて原案のとおり全会一致で認定・可決しました。

一般質問は2人が登壇し、「新型コロナウイルス関連と移住定住対策について」、「村道・林道及び環境観光拠点施設等の整備について」、「農業施策について」、「コロナ対策について」、「再造林への補助金について」の5項目について問いました。

また、最終日の本会議には、インフルエンザ予防接種料の助成を盛り込んだ一般会計補正予算が追加提案され、全会一致で可決しました。

## ◆決算の概要◆

した。

令和元年度の一般会計決算は、歳入25億1374万5千円、歳出23億8838万円です。

財源を除いた実質収支額は1億2125万7千円の黒字決算となりました。

決算規模を前年度と比較すると、歳入では9730万円、歳出では4077万円と共に減額となりました。

## ◆財政運営の状況◆

前年対比では歳入99.6%、歳出98.3%で前年度を下回る決算額となりました。

経常的収入のうち一般財源は16億295万5千円で、歳入総額の63.8%、前年度より1595万7千円の増となっています。



9月7日の本会議

経常的な歳出のうち、一般財源は15億1260万8千円で、歳出総額に占める割合は63.4%となっています。

その主なるものは、地方交付税の増額によるものであります。

## 令和元年度 上小阿仁村各会計歳入歳出決算額

会計区分	歳入決算額	歳出決算額	差引残額	繰越財源	実質収支額
一般会計	25億1374万5千円	23億8838万円	1億2536万5千円	410万8千円	1億2125万7千円
特別会計	11億7102万5千円	11億6383万1千円	719万4千円	0円	719万4千円
国民健康保険事業	3億3653万7千円	3億3652万円	1万7千円	0円	1万7千円
国民健康保険診療施設	1億588万円	1億588万円	0円	0円	0円
簡易水道事業	8184万2千円	8105万9千円	78万3千円	0円	78万3千円
農業集落排水事業	6407万8千円	6207万1千円	200万7千円	0円	200万7千円
下水道事業	4788万9千円	4645万8千円	143万1千円	0円	143万1千円
介護保険事業	4億9425万1千円	4億9129万5千円	295万6千円	0円	295万6千円
後期高齢者医療	4054万8千円	4054万8千円	0円	0円	0円
合計	36億8477万円	35億5221万1千円	1億3255万9千円	410万8千円	1億2845万1千円

# 令和元年度 一般会計決算

## 主要施策の成果

### 総務費

プロジェクト開催実行委員会への負担金。

●秋田県町村電算システム共同事業  
4690万2千円  
秋田県内全12町村加入による共同電算システムの運用を図った。



かみこあにプロジェクト2019

### 道の駅の管理委託料

658万4千円

●集落振興交付金  
287万7千円  
集落の振興を図るため交付した。

●パソコン等機器類共同調達  
1116万7千円  
サポートが終了したパソコンを町村電算物品等で共同調達した。

●防災広報無線デジアナ改修  
2777万9千円  
老朽化と周波数帯使用制限到来が近いため、デジタル無線システムへの更新を行つた。（長信田、杉花、福館）

### 民生費

#### 民 生 費

●高齢者生活福祉センター  
698万5千円  
老朽化した特殊浴槽を更新し、快適な入浴サービスの提供を行つた。

●生活バス路線維持費  
1835万3千円  
生活路線バスの赤字対策として補助し、バス運行の維持に努めた。

### 衛生費

#### 衛 生 費

●塵芥処理事業  
786万8千円  
ごみ処理を北秋田市クリーンリサイクルセンターへ委託した。

●ごみ収集運搬業務委託料  
1973万9千円  
28世帯、33人を対象に、全額補助し、子育て家庭の経済的負担を軽減した。

●北秋田市し尿処理施設建設費負担金  
4736万4千円  
令和2年度から供用開始予定の、し尿処理施設建設費負担金を北秋田市に支払つた。

### 決算審査報告

## 税負担の公平性 滞納額の対応強化を求める

一般会計及び特別会計を通じ、その計数には誤りはなく、証拠書類は適切に処理され妥当と認められた。

滞納者は村税、国保税、住宅使用料、農業集落排水使用料、介護保険料とも、長年にわたり固定化しているので、その対策を至急講じていただきたい。

経費の節減は勿論のこと行政の簡素化、効率化に努め、将来を展望した計画的な行財政運営によって、健全な財政の維持確立を図られることを望みます。

（審査の総評より抜粋）

監査委員 萩野 芳紀



## 農林水産費



野外生産試作センター視察時、協力隊の話を聞く

●多面的機能支払交付金  
1345万2千円  
共同活動を通じ、各集落の農地・農業用水等の資源や農村環境の保全を図った。

●中山間地域等直接支払交付金  
1012万6千円  
中山間地域における生産条件の不利な団地の農地に対して、収益の向上や環境整備を図る目的で交付された。

●森林經營管理制度意向調査業務  
440万円  
森林經營管理法に基づき、森林所有者へ意向調査を実施した。(森林環境譲与税を使用)

●造材事業  
814万9千円  
補助金を活用して村有林の間伐7・88haを実施した。(収入総額937万7千円)

●商工費  
上小阿仁村食農観丸ごと推進協議会  
135万円  
県や関係団体で協議会を構成し、誘客促進受入体制構築事業、食農観連携として栽培講習会等事業、かみこあにグルメまつりを開催した。

●野外生産試作センター管理費  
1708万1千円  
(生産物売払収入199万3千円)

## 土木費

●除雪委託料  
4379万7千円  
冬期間の交通確保のため、生活道路を中心にして路線、45・3kmを実施した。

●社会資本整備総合交付金事業(上小阿仁橋撤去工事)  
6269万6千円  
河川の洗堀により影響を受けている2箇所の対策工事を行つた。

●選学資金  
584万円  
12人に修学資金を貸与した。

●河川洗堀対策工事  
564万5千円  
河川の洗堀により影響を受けている2箇所の対策工事を行つた。

●住宅リフォーム緊急支援事業  
申請件数  
・事業費  
・県補助金  
・村補助金  
159万円  
56万円  
8件  
2487万円  
200万4千円  
222万2千円  
4月から9月まで6ヶ月の給食費補助だったが3月まで12ヶ月の給食費を助成するように改め、保護者負担の軽減を図った。

## 消防費

●北秋田市への消防事務委託  
1億319万2千円  
北秋田市への消防事務委託

●公共土木施設災害復旧費  
311万4千円  
農地農業用施設災害復旧費

## 教育費

●小中学校冷房設備設置工事  
2197万8千円  
国の交付金を活用して小学校8室、中学校8室に工アコンを整備した。

●学校給食費補助金  
200万4千円  
学校給食費助成金  
222万2千円

●農地農業用施設災害復旧費  
311万4千円  
農地農業用施設災害復旧費

## 災害復旧費

区分	年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
村民税①		75千円	294千円	212千円	185千円	323千円
固定資産税②		799千円	1,098千円	1,018千円	971千円	1,135千円
軽自動車税③		28千円	21千円	11千円	33千円	10千円
村税計①+②+③		902千円	1,413千円	1,241千円	1,189千円	1,468千円
国民健康保険税		979千円	933千円	806千円	149千円	1,635千円

# ふるさと納税返礼品用の米は 村内農家産にするべきでは

総務産業常任委員会に付託された議案について、9月7日から7日間審査を行いました。意見等の要旨は、次のとおりです。

## 決算認定議案

### 未収金対策について

#### ▼意見

不納欠損額（2566千円）については、一向に減少する気配がない。理由として時効があるが、不納欠損は村の損失であり、税負担の公平性という意味からも、税納入の対応強化を図るべきである。

特別会計においては、未納額が結果として欠損につながる。特別会計は一般会計からの持ち出しであり、基金の取り崩しにつながっている。村民の生活を守りながら、公平性を守るために、顧問弁護士と相談し改善が必要である。

要と考

えます。法令等に基づいた対応を行ってまいります。

### ふるさと納税について

#### ▼意見

令和元年度ふるさと納税寄付額（567件）は13180千円。そのうち返礼品への充当額は3586千円であるが、返礼品のうち、かみこあに観光物産635千円。秋田たかの農協2983千円。農協の返礼品のうち、米の返礼品額は1711千円となつてきている。農協の返礼品リストから米を取り下げ、村内農家の所得向上のためにも、米の返礼品はかみこあに観光物産にするべきである。

### コミニティーセンター管理運営について（山ふじ温泉）

#### ▼意見

運営について、年々維持費が増加している。以前から要望しているように、村内外から幅広く募集しながら指定管理も考えるべきである。

本來であれば業者負担にするべきであった。

本来により対処しなければなりませんでしたが、請負者の倒産によつて公費での負担を強いられた事案であります。ご理解をお願いします。

### 集住型宿泊交流拠点施設について（コアーティー）

#### ▼意見

点検口の修繕については、建設当初より指摘していたにも係わらず放置し、村の修繕費が発生している。

本來であれば業者負担にするべきであった。

本来により対処しなければなりませんが、請負者の倒産によつて公費での負担を強いられた事案であります。ご理解をお願いします。

さと納税寄付額13180千円のうち、お米に関する寄付額は6240千円（約47%）でありました。農協が占める割合は高いものとなつておりますが、これらは寄付者のニーズに即したもので、寄付者の目線では

「JAグループ」という全国的な知名度、いわゆるネームバリューによるものも大きな要因ではないかと考えられます。

また、毎年のように建物の修繕やメンテナンス費用が発生しております。今後も施設の老朽化に伴い、大規模改修も予想されることから、施設継続の是非、指定管理や民間移譲など多方面にわたつて検討してまいります。

成8年2月のオープン以来、営業費用から収益を差し引いた、いわゆる赤字部分が1億5千万円にも達しております。